

- 2001年1月1日から2017年1月31日まで岡山大学病院 消化管外科において胃癌の手術あるいは化学療法を受けられた方へ -

「胃癌術前補助化学療法施行例の検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 槇野 博史

研究責任者 岡山大学病院 低侵襲治療センター
准教授

香川俊輔

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

進行した胃がんは手術後に再発する確率が高く、生存率が低いことが問題である。癌を完全に切除すること、手術後の再発を減らすことを目的に、手術前にも化学療法が行われ、その効果が期待されているが、未だ確固たる科学的データがないのが現状である。これまでに当院で行われたそういった手術前に行われた化学療法の治療のデータを振り返る研究を行う。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2001年1月1日から2017年1月31日まで岡山大学病院 消化管外科において胃癌の手術あるいは化学療法を受けられた方症例40人、対照600人を対象とします。

2) 研究期間

2017年2月開催の倫理委員会承認後 ~ 2018年3月31日

3) 研究方法

対象となる研究対象者に対し、手術を目的に何らかの化学療法実施した症例について調査します。またそれと比較するために対照として化学療法を行わずに手術をした症例についても調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが遺漏しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後1年間、岡山大学低侵襲治療センター内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば個人を特定できるデータの保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますのでお申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータを分からない形にして、学会や論文で発表しますのでご了承ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2017年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 低侵襲治療センター 准教授 香川 俊輔
電話 086-235-7257 (平日 8時30分～17時30分) ファックス 086-235-6837